

大分県道州制研究会におけるこれまで(第1回～第3回)の委員意見【主なもの】

◎現状分析

- 中央集権体制、東京集中の問題
- 都道府県制の現状
- 地方の医師不足、中央に偏在
- 意識改革の必要性
- ライフスタイルの変化
- 高齢者等福祉の問題

◎道州制の目的・夢

- 社会インフラ整備への期待
- 産業の発展への期待
- 多様な人材育成の可能性
- 救急医療体制の充実

◎道州制導入の影響（肯定的意見）

- 広域経済圏による発展
- 広域地域での行政課題への対応
- 行政の効率化
- 人材の育成・確保
- 住民サービスの抜本的改革
- 社会インフラの整備
- 活力ある地域の実現
- 地方のことは地方で決定する社会の実現

◎道州制導入の影響（懸念）

- 地域アイデンティティ、個性の消失
- 住民サービスの低下
- 公共機関等の集約化
- 単なる都道府県合併で終わるおそれ
- 地域間格差の拡大、地域の衰退
- 企業等の競争激化
- 人材の確保等に関する問題

◎その他の論点

- 制度論・技術論(首長、基礎自治体、適正規模、権限、税財政制度、・・・)
- 州都の問題
- 住民への説明、情報提供の必要性

◎必要となる環境整備、対策など

- 市町村及びその他の団体のあり方検討
- 地域間格差の是正
- 大分地域の特色を活かす、磨く
- 社会インフラの整備
- 国からの権限、財源、人材の移譲
- 住民サービスへの対応

今後の議論(案)

- 道州制導入イメージの共通認識の形成
- 分かりやすい情報・データの提供、公開 (例)人口・財政見通しなど将来推計値
- 道州制導入の影響(メリット・デメリット)を詳細に分析
(例)県民視点から分野別に深掘り、道州制以外の手段でも解決できないか検討、等
- 道州制議論にかかわらず今後の大分県に求められる事項・対策の抽出 など

リンク

県民レベルの
議論喚起